

大学院における実務経験の確認申請書 本票（新規申請）記入例

この申請書はexcelデータでの提出をお願いします。

連合大学大学院 工学系研究科 建築学専攻

申請本票

大学院における実務経験の確認申請書

新規申請

①

本大学院における別表の開講予定のインターンシップ及びこれに関連して必要となる科目について、建築士法第4条に規定する建築実務に該当するものであることの確認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 様

申請年月日

令和7年11月1日

申請者役職名

学長

申請者名

建築 士郎

②

大学院情報欄

申請区分入力欄

大学院ID(新規の場合は記入不要)	-		③
申請する大学院	申請の対象となる入学年度(例:令和8年_2026)	- 令和8年_2026	④
	大学院名(根拠法令、学則等に記載されている正式名)	新規 連合大学大学院	⑤
	学校名のふりがな	新規 れんごうだいがくがくいがいん	⑥
	研究科名	新規 工学系研究科	⑦
	専攻名(又はコース名等)	新規 建築学専攻	⑧
専門領域	意匠	新規 ○	
	構造		
	設備	新規 ○	
1単位の時間数	学外インターンシップ (30時間以上)	新規 1単位:60分×30時間=30時間	
	学内インターンシップ (30時間以上)	新規 1単位:60分×2コマ×15週=30時間	
	演習 (15時間以上)	新規 1単位:60分×2コマ×15週=30時間	
	講義 (15時間以上)	新規 1単位:60分×1コマ×15週=15時間	
申請担当者連絡先	担当者氏名	新規 連合 太郎	
	担当者氏名のふりがな	新規 れんごう たらう	
	担当者役職名	新規 教授	
	電話番号(例 00-0000-0000)	新規 03-6436-1401	
	メールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp)	新規 internship@kenchikushikai.or.jp	

①申請種別・申請区分

- ◆申請種別「新規申請」もしくは「新規申請（研究科・専攻名変更）」を選択してください。
- ◆別添「申請区分の考え方.pdf」を参考に申請区分を選択してください。

②申請年月日・申請者役職名・申請者名

- ◆申請者は、学校長等、専攻長以上の方としてください。
- ◆公印は不要です。

③大学院 ID

- ◆「新規申請」の場合は入力不要です。
- ◆「新規申請（研究科・専攻名変更）」で、旧大学院 ID がわかる場合は、入力してください。

④申請の対象となる入学年度

- ◆入学年度を選択してください。
- ◆複数の場合は入学年度ごとに申請書を作成してください。

⑤申請する大学院

- ◆学則等に規定されている正式名称を入力してください。

⑥専門領域

- ◆申請する専門領域に○を選択してください。
- ◆申請しない専門領域については、空欄でかまいません。

⑦1単位の時間数

- ◆実時間（ガイダンス・報告会等を除く）を入力してください。
- ◆基準の時間数（インターンシップ科目は 30 時間以上、演習・講義科目は 15 時間以上）に満たない場合、授業外学修の時間をシラバス等に記載してください。

⑧申請担当者連絡先

- ◆ここに記載された担当者様宛に結果通知や不備連絡をお送りいたします。
- 必ず連絡の取れるメールアドレスを入力してください。（共通のアドレス等）
- ◆メールアドレスを複数入力する場合は「;（セミコロン）」で区切ってください。

大学院における実務経験の確認申請書 別表（新規申請）記入例

連合大学大学院工学系研究科建築学専攻 意匠

別表

この申請書はexcelデータの提出をお願いします。

大学院における実務経験の確認申請書(別表)

大学院名・課程名 **連合大学大学院工学系研究科建築学専攻**

申請の対象となる者の入学年度 **令和8年_2026**

新規申請

専門領域 **意匠**

実務年数 **2年又は1年**

①

②

③

④

⑤

⑥

新規

基本的な考え方

●各専門領域における基本的な考え方を記入してください。

判定

1. インターンシップ科目 小計（2年：14単位以上 1年：4単位以上） **20**

申請区分	科目区分	科目名	主な実習先	指導者	日数	実時間(ガイダンス・報告会等を除く)	単位	判定
新規	学外	インターンシップⅠ	建築設計事務所	建築士	20	120	4	
新規	学外	インターンシップⅡ	建築設計事務所	建築士	20	120	4	
新規	学外	インターンシップⅢ	建築設計事務所	建築士	30	180	6	
新規	学内	建築設計実習Ⅰ	学内スタジオ	建築士	15	60	2	
新規	学内	建築設計実習Ⅱ	学内スタジオ	建築士	20	120	4	

2. 関連科目・演習等 小計 **16**

申請区分	科目区分	科目名	インターンシップと関連して必要となる理由 (授業内容はシラバス参照)	単位	判定
新規	演習等	建築設計演習Ⅰa	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	
新規	演習等	建築設計演習Ⅱa	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	
新規	演習等	建築設計演習Ⅲa	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	
新規	演習等	建築設計演習Ⅳa	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	

3. 関連科目・講義 小計 **8**

申請区分	科目区分	科目名	インターンシップと関連して必要となる理由 (授業内容はシラバス参照)	単位	判定
新規	講義	建築設計特論Ⅰ	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
新規	講義	建築設計特論Ⅱ	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
新規	講義	建築意匠論	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
新規	講義	建築技術者倫理	インターンシップを行う前に、建築設計者としての責任の重要性等、実務を行ううえで必要な知識を身に付けさせる。	2	

合計（2年：30単位以上 1年：15単位以上） **44**

①申請種別

◆「新規申請」「新規申請（研究科・専攻名変更）」のいずれかを選択してください。

②大学院名・課程名

◆本票に記入した課程名（大学院名・研究科名・専攻名）を記入してください。

③申請の対象となる入学年度

◆本票との整合を確認の上、入学年度を選択してください。次年度の申請はできません。

④専門領域

◆申請する専門領域（意匠・構造・設備）を選択してください。

⑤実務年数

◆所定の単位を修得することにより、可能となる実務経験年数を選択してください。

⑥基本的な考え方

◆各専門領域（意匠・構造・設備）の専門家の育成において、インターンシップ及び関連科目を通じて何を学ぶべきか、修得すべき知識及び技能等について、その理念や基本的な考え方、教育方針等を大学院側の意向がわかるように記入してください。（内容が不明確な場合は、再提出をお願いすることがあります。）

⑤申請区分

◆別添「申請区分の考え方 .pdf」を参考に、申請区分を選択してください。（申請種別「新規申請」の場合は、全て「新規」となります。）

⑥インターンシップ科目・関連科目（演習等・講義）

- ◆科目区分を選択してください。
- ◆科目名を入力してください。
- ◆主な実習先の事務所の種別と指導者の建築士資格を選択してください。
- ◆実習をする日数を入力してください。
- ◆実時間（ガイダンス・報告会等を除く）を入力してください。
- ◆単位数を入力してください。
- ◆インターンシップと関連して必要となる理由を簡潔に入力してください。（授業内容はシラバスで確認するため、記入不要です。）
- ◆開講科目については、単位数の上限（演習・講義：8単位）を超えて、設定することができます。

大学院における実務経験の確認申請書 本票（変更申請）記入例

この申請書はexcelデータでの提出をお願いします。

連合大学大学院 工学系研究科 建築学専攻

申請本票

大学院における実務経験の確認申請書

変更申請

①

本大学院における別表の開講予定のインターンシップ及びこれに関連して必要となる科目について、建築士法第4条に規定する建築実務に該当するものであることの確認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 様

申請年月日

令和7年11月1日

申請者役職名

学長

申請者名

建築 士郎

②

大学院情報欄

申請区分 入力欄

大学院ID(新規の場合は記入不要)	-	999
申請する大学院	申請の対象となる入学年度(例:令和8年_2026)	- 令和8年_2026
	大学院名(根拠法令、学則等に記載されている正式名)	継続 連合大学大学院
	学校名のふりがな	継続 れんごうだいがくだいがくいん
	研究科名	継続 工学系研究科
	専攻名(又はコース名等)	継続 建築学専攻
専門領域	意匠	変更 ○
	構造	① 追加 ○
	設備	継続 ○
1単位の時間数	学外インターンシップ (30時間以上)	継続 1単位:60分×30時間=30時間
	学内インターンシップ (30時間以上)	継続 1単位:60分×3コマ×15週=45時間
	演習 (15時間以上)	継続 1単位:60分×2コマ×15週=30時間
	講義 (15時間以上)	継続 1単位:60分×1コマ×15週=15時間
申請担当者連絡先	担当者氏名	変更 建築 金子
	担当者氏名のふりがな	変更 けんちく あいこ
	担当者役職名	変更 准教授
	電話番号(例 00-0000-0000)	変更 03-6436-1401
	メールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp)	変更 internship@kenchikushikai.or.jp

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

※継続以外は赤字で入力してください。

①申請種別・申請区分

◆別添「申請種別の考え方.pdf」にて、申請が必要であること((3)に該当)を確認し、申請種別「変更申請」を選択してください。

◆別添「申請区分の考え方.pdf」を参考に申請区分を選択してください。

②申請年月日・申請者役職名・申請者名

◆申請者は、学校長等、専攻長以上の方としてください。

◆公印は不要です。

③大学院 ID

◆大学院 ID を入力してください。(担当者様宛の案内メールの件名に付されています。)

④申請の対象となる入学年度

◆入学年度を選択してください。

◆複数の場合は入学年度ごとに申請書を作成してください。

⑤申請する大学院

◆学則等に規定されている正式名称を入力してください。

⑥専門領域

◆申請する専門領域に○を選択してください。

⑦1単位の時間数

◆実時間(ガイダンス・報告会等を除く)を入力してください。

◆基準の時間数(インターンシップ科目は30時間以上、演習・講義科目は15時間以上)に満たない場合、授業外学修の時間をシラバス等に記載してください。

⑧申請担当者連絡先

◆ここに記載された担当者様宛に結果通知や不備連絡をお送りいたします。

必ず連絡の取れるメールアドレスを入力してください。(共通のアドレス等)

◆メールアドレスを複数入力する場合は「; (セミコロン)」で区切ってください。

大学院における実務経験の確認申請書 別表（変更申請）記入例

連合大学大学院工学系研究科建築学専攻_意匠
別表

この申請書はexcelデータの提出をお願いします。

大学院における実務経験の確認申請書(別表)

変更申請

①

大学院名・課程名

連合大学大学院工学系研究科建築学専攻

②

専門領域

意匠

④

申請の対象となる者の入学年度

令和8年_2026

③

実務年数

2年又は1年

⑤

判定

⑥

継続

基本的な考え方

●各専門領域における基本的な考え方を記入してください。

1. インターンシップ科目

小計（2年：14単位以上 1年：4単位以上）

18

申請区分	科目区分	科目名	主な実習先	指導者	日数	実時間(ガイダンス・報告会等を除く)	単位	判定
継続	学外	インターンシップⅠ	建築設計事務所	建築士	20	120	4	
変更	学外	インターンシップⅡ	建設工事業社	建築士・建築設備士	20	120	4	
変更	学外	インターンシップⅢ	設備設計事務所	建築設備士	20	120	4	
継続	学内	建築設計実習Ⅰ	学内スタジオ	建築士	15	60	2	
継続	学内	建築設計実習Ⅱ	学内スタジオ	建築士	20	120	4	

2. 関連科目_演習等

小計

12

申請区分	科目区分	科目名	インターンシップと関連して必要となる理由 (授業内容はシラバス参照)	単位	判定
変更	演習等	建築設計演習Ⅰ	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	
変更	演習等	建築設計演習Ⅱ	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	
削除	演習等	建築設計演習Ⅲ	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。		
追加	演習等	建築設計演習Ⅳ	インターンシップにおいて、設計図書を作成業務を行ううえで、最低限必要となる知識及び技能を身に付けさせる。	4	

3. 関連科目_講義

小計

8

申請区分	科目区分	科目名	インターンシップと関連して必要となる理由 (授業内容はシラバス参照)	単位	判定
変更	講義	建築設計特論Ⅰ	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
変更	講義	建築設計特論Ⅱ	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
継続	講義	建築意匠論	インターンシップを行ううえで、建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付けさせる。	2	
追加	講義	建築技術者倫理	インターンシップを行う前に、建築設計者としての責任の重要性等、実務を行ううえで必要な知識を身に付けさせる。	2	

合計（2年：30単位以上 1年：15単位以上）

38

①申請種別

◆「変更申請」を選択してください。

②大学院名・課程名

◆本票に記入した課程名（大学院名・研究科名・専攻名）を記入してください。

③申請の対象となる入学年度

◆本票との整合を確認の上、入学年度を選択してください。

④専門領域

◆申請する専門領域（意匠・構造・設備）を選択してください。

⑤実務年数

◆所定の単位を修得することにより、可能となる実務経験年数を選択してください。

⑥基本的な考え方

◆各専門領域（意匠・構造・設備）の専門家の育成において、インターンシップ及び関連科目を通じて何を学ぶべきか、修得すべき知識及び技能等について、その理念や基本的な考え方、教育方針等を大学院側の意向がわかるように記入してください。（内容が不明確な場合は、再提出をお願いすることがあります。）

⑤申請区分

◆別添「申請区分の考え方 .pdf」を参考に、申請区分を選択してください。

◆継続以外の申請区分（変更・追加・削除）は赤字で記してください。

⑥インターンシップ科目・関連科目（演習等・講義）

◆科目区分を選択してください。

◆科目名を入力してください。

◆主な実習先の事務所の種別と指導者の建築士資格を選択してください。

◆実習をする日数を入力してください。

◆実時間（ガイダンス・報告会等を除く）を入力してください。

◆単位数を入力してください。

◆インターンシップと関連して必要となる理由を簡潔に入力してください。

（授業内容はシラバスで確認するため、記入不要です。）

◆開講科目については、単位数の上限（演習・講義：8単位）を超えて、設定することができます。

◆継続以外（変更・追加・削除）は赤字で記してください。